

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年4月19日)

- 1 鳥取県文化芸術評価委員会の評価結果について
【文化政策課】・・・1ページ
- 2 県と米子市との体育施設の交換及び米子コンベンションセンター
管理運営に係る協定調印式について
【文化政策課】・・・3ページ
- 3 鳥取県への有名ブロガーの招致について
【観光政策課】・・・4ページ
- 4 平成24年度米子ソウル便、環日本海貨客船航路(旅客)の利用実績等について
【国際観光推進課】・・・5ページ
- 5 「国際リゾートとっとりプラン」の策定について
【国際観光推進課】・・・6ページ
- 6 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」の開催準備状況について
【西部総合事務所地域振興局】・・・7ページ
- 7 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【文化政策課】・・・10ページ

文化観光局

鳥取県文化芸術評価委員会の評価結果について

平成25年4月19日

文化政策課

県が実施又は助成する文化芸術事業（平成24年4月1日から12月31日実施）について、鳥取県文化芸術評価委員会（松本薫会長ほか18名）が実地検証・評価を行い、評価報告書を知事に報告しました。

1 鳥取県文化芸術評価委員会について

(1) 評価事業とは

- ・県が実施又は助成する文化芸術事業について、評価委員が鑑賞・実地検証・アンケートを通じて評価を行い事業者に伝達することにより、良質な作品創造や県民の文化芸術事業への参加機会の充実、効率的な事業運営などに資するしくみ。
- ・とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の評価を目的に平成16年度に事業化した。平成20年度からは県文化団体連合会事業、県展等も対象に含めて実施している。

(2) 平成24年度の評価対象事業

県主催（2事業）	第56回鳥取県美術展覧会、第3回とっとり伝統芸能まつり
とりアート主催（2事業）	東部地区イベント・中部地区イベント
県文化団体連合会事業 （20事業）	因幡バンド天国2012、鳥取県写真家連盟第14回合同写真展、第39回鳥取県演劇連盟合同公演、長月おどり、鳥取県シティバンドフェスティバル、和太鼓ふるさとの響き2012、音楽日和ライブフェスティバル Vol.14、RAKUGOPERA こうもり、第36回鳥取県川柳大会、2012 鳥取県オーケストラ連盟演奏会鳥取公演、第41回鳥取県短歌大会、ヤングピアニストコンサート2012、とりにん人形劇カーニバル in こどもの国、「ダンスの日」記念ダンス交流会、日韓交流民謡の集い2012、鳥取県三流合同謡曲仕舞大会、第10回鳥取県民謡まつり、第17回鳥取県俳句大会、県民による「第九」米子公演、第34回鳥取県書道連合会展

※H25.1～3月実施の3事業については、次年度の評価報告書に掲載予定

(3) 評価項目

質の高い文化芸術活動、県民の文化活動の支援、県民の鑑賞機会の拡大、人材育成、子どもたちへの鑑賞機会の提供、地域の伝統芸能の継承、歴史に埋もれた文化芸術の再発見 等

(4) 評価報告までの経過

- 24年6月 評価の実施方針と対象事業の決定
- 7月 評価対象事業者に対する評価説明会の開催
- 8月 各委員が担当別に全事業を実地検証し、評価レポートを作成（～12月）
- 25年2月 評価対象事業者に対する評価内容の伝達
- 4月 評価報告書の知事報告

2 評価結果 (概要)

種類	評価結果	
とりアート 地区イベント	成果	ゲームや体験型などこれまでになかった企画があり、地元商店街とのタイアップなど意欲的な取り組みがなされた。イベントの質も向上し、より多くの参加者を取り込む工夫もなされていた。観客アンケートでも好評の声が多い。
	課題	「まとまりに欠ける」「テーマが漠然としている」など一体性が薄いという意見や、「賑やかさに乏しい」「盛り上がり欠ける」「良い催しなのに知らない人が多い」という広報面での課題も浮き彫りになった。
舞台系 イベント	成果	日ごろの活動の成果を見せる機会として、意義のあるイベントがそろった。他ジャンルとのコラボレーションや、地域の祭とのタイアップを企画した事業もあり、チャレンジを評価する。
	課題	観客とくに若い人の参加が少ない。上演時間が長すぎるなど、観客目線に立った運営がなされているのかという声もあり。より一般の人が鑑賞しやすい運営を望みたい。
展示系 イベント	成果	鳥取県美術展覧会は県内美術製作者の登竜門であり、晴れの舞台となっている。審査に関しては改善が見られるが、さらなる公平性が求められる。作品の質は徐々に向上し、多様性も生まれてきている。
	課題	日ごろ美術作品に接しない人には、どう鑑賞していいのかよく分からないという意見もあり。ギャラリートーク、オープニングにコーラスは好評。次代を担う青少年層を含む多くの人が、アートを通じて物事の機微を培い、人生の豊かさを感じるという機運作りは、社会全体で取り組まれるべきこと。学校などへの働きかけ、機運づくりに期待したい。
文芸系 イベント	成果	短歌、俳句、川柳など文芸を愛好する人たちが、結社やグループの垣根を越え一堂に会する機会として意義のある催し。各団体とも小・中・高校から作品を募集し表彰して、人材育成を図っているのは素晴らしい。言葉による表現活動は、他ジャンルに比べ地味な印象があるが、いずれの催しも着実に回数を重ね、文芸の水脈を作っている。
	課題	まだ身内のイベント感が強く、外部から参加しづらい雰囲気があるのも確か。会場案内、受付での対応、また部外者にどう参加してもらうかといった、細かい配慮がなされることを望む。

3 評価結果の事業への反映と今後の取り組み

- ・平成 24 年度の評価結果については、事業実施者と評価委員による意見交換会を開催し、評価意見について相互理解を深めた。
- ・要改善事項（会場案内などの周知の徹底、協賛・助成者名等のプログラム等への明記、アンケート回収率の向上）について、事業者に伝達し次年度以後の改善を促した。

県と米子市との体育施設の交換及び米子コンベンションセンター管理運営に係る協定調印式について

平成25年4月19日
 財 政 課
 文 化 政 策 課
 スポーツ健康教育課

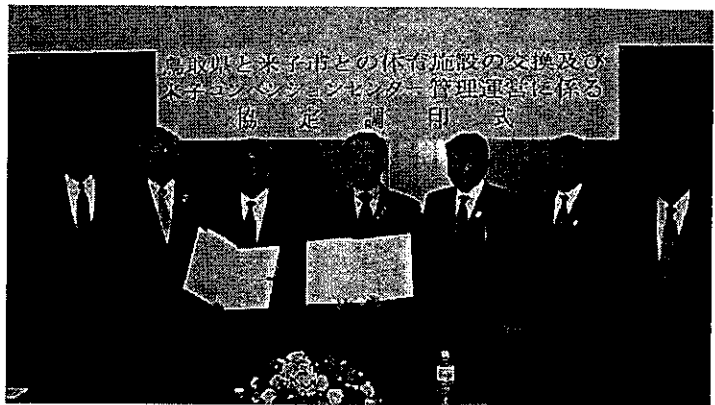
県と米子市は、県の水泳競技の競技力向上と市民の健康増進のため、県営米子屋内プールと米子市営東山水泳場を交換することで合意したので、その合意内容について、協定を締結しました。

また、県と米子市とが共同で管理を行っている米子コンベンションセンターについて、管理運営費の負担割合の変更の協議が調ったので、米子コンベンションセンターの管理運営のための協定についても、併せて締結しました。

1 協定調印式の日時
 平成25年3月25日(月)

2 場所
 知事公邸 第1応接室

3 協定者
 鳥取県 知事 平井 伸治
 米子市 市長 野坂 康夫



4 その他出席者

(1) 体育施設関係

鳥取県教育委員会 教育長 横濱 純一
 米子市教育委員会 教育長 北尾 慶治
 (一財)鳥取県水泳連盟 会長 藤縄 喜和
 (公財)鳥取県体育協会 会長 油野 利博

(2) 米子コンベンションセンター関係

鳥取県文化団体連合会常任理事・米子市文化協議会会長 小谷 幸久

5 協定書の概要

(1) 体育施設の交換

①米子市営東山水泳場(屋外・屋内)と鳥取県営米子屋内プール(体育館等の付随施設は除く)を交換するため、互いに必要な議決を経て無償で譲渡する。

②譲り受けた施設について、県は、県の水泳競技力向上を、米子市は、市民の健康増進を図るよう管理運営を行う。

③水泳施設の交換までに、互いに所有者において必要な改修を行う。

④それぞれの施設の用地は無償譲渡の対象とせず、相互に無償貸付けを行うものとする。

⑤交換の時期は、それぞれの施設に係る改修工事終了後、必要な議決を経て速やかに行う。

但し、既に実施済みの改修工事費に起債償還の債務が残る場合は、償還後とし、それまでの間は、無償貸付けを行うものとする。

(2) 米子コンベンションセンター管理運営費に係る負担割合の変更

管理に要する経費に係る鳥取県と米子市の負担割合について、米子コンベンションセンターの利用実績に基づく負担割合に見直す。

[負担割合の見直し内容]

	見直し前 (H25.3.31以前)	見直し後 (H25.4.1以降)
鳥取県	1/2	2/3
米子市	1/2	1/3

鳥取県への有名ブロガーの招致について

平成25年4月19日
未来づくり推進局企画課
文化観光局観光政策課

4月9日から11日にかけて、首都圏で活躍されている著名なブロガー8名を本県に招聘し、地元ブロガーとの交流を図るとともに県内の観光地や食を体感していただくツアーを行いました。

1 目的

ブロガーが体感した本県の魅力を、インターネットを通じて全国に情報発信し、本県のイメージアップ、認知度向上を図るとともに将来の誘客につなげる。

2 ブロガープロフィール

ブロガー名	性別	備考
コグレマサト	男性	デジタル機器・コンピュータ・インターネット、芸能情報等を扱ったブログ『ネタフル』運営。2004年、2005年：アルファブロガーに選出。2007年：第5回 Web クリエーションアワード・ユニット賞受賞。著書多数。
三浦一紀	男性	ライフスタイル・仕事・エンタメ等レポートを毎日配信する情報サイト『ウレぴあ総研』ライター。著書多数。
堀 正岳	男性	ITサービス・文具・ライフスタイル等について書き綴ったブログ『Lifehacking.jp』運営。2009年：海洋開発研究機構着任。著書多数。
徳本昌大	男性	日々の仕事・音楽・読者の雑感を綴ったブログ『ソーシャルおじさん徳本昌大コミュニケーション雑感』運営。広告代理店マネージャー。
いしたにまさき	男性	見たもの・聞いたもの・読んだもの・体験したものの考古学的レビューブログ『みたいもん!』運営。2002年：メディア芸術祭特別賞、第5回 Web クリエーションアワード・ユニット賞受賞。著書多数。
野間恒毅	男性	車・バイク等乗り物からラジコン・ガンダム等のホビーを幅広くとりあげたブログ『wonder driving』『のまのしわざ』運営。ワンダーツー(株)代表取締役。
tsubuyaki_koeda	女性	twitter で書き足りなかった情報を放出するブログ『長文こへだ』運営。
pinkpeco	女性	つかまえておきたい情報をストックするブログ『RT@pinkpeco』運営。

※インターネット上で公開されている情報に限定。

3 訪問地

(1) 4月9日(火)

たくみ割烹(鳥取和牛オレイン55)、砂の美術館(制作現場の見学)、鳥取砂丘(馬の背)、三朝温泉街散策(藤井酒造で地酒試飲、河原風呂入湯等)、三朝温泉泊

(2) 4月10日(水)

三徳山三佛寺投入堂(登山)、香味徳(牛骨ラーメン)、丸京庵(どらやき神社、大使館)、地元ブロガーとの交流イベント(アルファビル5階、DREAM STAGE PASS、約50人が参加)、皆生温泉泊

(3) 4月11日(木)

植田正治写真美術館、大山まきばみるくの里、とっとり花回廊(スプリングフェア)、お食事処さかゑや(新かにめし定食)、水木しげるロード散策

4 効果

ツアー内容については、今後、各ブロガー運営ブログ等での掲載を予定。また、ツアー状況はリアルタイムでツイッターに書き込まれており、現在ツイッターまとめサイト『togetter』上に「鳥取ブロガーツアー2013 #tottorip」のタイトルで掲載中。(4月15日8時30分現在：10,137の閲覧数)

平成24年度米子ソウル便、環日本海貨客船航路（旅客）の利用実績等について

平成25年4月19日

国際観光推進課

1 米子ソウル便（アジアナ航空山陰支店提供）

	搭乗席数/提供席数	日本人	韓国人	その他	搭乗率	前年比
4月	2,103席/4,250席	1,403人	658人	42人	49.5%(45.8%)	3.7%
5月	2,188席/4,386席	1,426人	735人	27人	49.9%(57.5%)	△7.6%
6月	2,300席/4,230席	1,421人	843人	36人	54.4%(51.8%)	2.6%
7月	2,508席/4,440席	1,654人	831人	23人	56.5%(57.1%)	△0.6%
8月	2,419席/3,804席	1,433人	943人	43人	63.6%(58.9%)	4.7%
9月	2,666席/4,242席	2,171人	457人	38人	62.8%(72.0%)	△9.2%
10月	2,279席/4,386席	1,765人	489人	25人	52.0%(68.7%)	△16.7%
11月	2,459席/4,390席	1,774人	659人	26人	56.0%(62.2%)	△6.2%
12月	1,533席/3,882席	849人	643人	41人	39.5%(50.6%)	△11.1%
1月	1,884席/4,206席	686人	1,154人	44人	44.8%(47.0%)	△2.2%
2月	2,729席/3,996席	1,278人	1,428人	23人	68.3%(61.5%)	6.8%
3月	3,310席/4,922席	2,041人	1,204人	65人	67.2%(55.2%)	12.0%
合計	28,378席/51,134席	17,901人	10,044人	433人	55.5%(57.4%)	△1.9%

(注)1. 搭乗率欄の()内は前年同期実績

<概況>

- ・韓国人利用者数は、11月末に実施したホームショッピングにより1月以降は好調に推移している。
- ・日本人利用者数も1月以降のパスポート取得支援、グループ旅行支援により増加している。

2 環日本海貨客船：境港～東海間（DBSクルーズフェリー提供）

	日本人	韓国人	ロシア人	その他	合計	1便当り人数
4月	71人	2,146人	209人	42人	2,468人(1,059)	309人(106)
5月	53人	2,463人	76人	33人	2,625人(1,055)	328人(264)
6月	59人	2,611人	108人	83人	2,861人(1,830)	286人(229)
7月	52人	1,195人	198人	36人	1,481人(3,251)	185人(325)
8月	119人	2,439人	247人	40人	2,845人(2,604)	356人(326)
9月	69人	1,429人	112人	54人	1,664人(1,759)	139人(195)
10月	50人	1,462人	78人	27人	1,617人(2,114)	202人(235)
11月	53人	1,809人	53人	28人	1,943人(1,841)	216人(230)
12月	86人	1,535人	52人	8人	1,681人(2,383)	187人(238)
1月	25人	2,348人	32人	3人	2,408人(2,695)	301人(337)
2月	30人	2,211人	28人	10人	2,279人(2,192)	301人(274)
3月	8人	1,120人	20人	8人	1,156人(1,404)	289人(351)
合計	675人	22,768人	1,213人	372人	25,028人(24,187)	250人(252)

(注)合計欄、1便当り人数欄の()内は前年同期実績

<概況>

- ・韓国人利用者数は、竹島問題の発生した9月に落ち込んだが、1月以降回復傾向にあり、年度計では前年度を上回った。
- ・平成25年4月以降も韓国人の予約は堅調に推移している。

「国際リゾートとっとりプラン」の策定について

平成25年4月19日
国際観光推進課

平成22年度に策定した「鳥取県国際観光アクションプログラム」について、2月8日（金）から3月4日（月）まで実施したパブリックコメントの結果を踏まえて、「国際リゾートとっとりプラン」として発展的に改訂し、策定しました。

1 概要

(1) プランの趣旨 外国人観光客の増加を目指すための国際観光振興の取組に関する指針

(2) 計画期間 平成25年度～27年度（3年間）

(3) 基本戦略 「北東アジアゲートウェイプラス」

（米子ソウル便・環日本海定期貨客船を活用した韓国からの誘客に加え、県内空港・港湾へのチャーター便・クルーズ客船及び近隣空港の定期航空便を活用し、中国・台湾・香港・ロシア・東南アジアなど、海外の新規エリアからの誘客を図る）

(4) 目標数値

県内の外国人延べ宿泊者数 30,000人超（全国30位台）

(5) 施策体系

ア 受入環境整備

①県内関係者の機運醸成

②二次交通の充実

③国際観光案内体制の整備

④県内観光施設・商業施設・宿泊施設・主要交通拠点の多言語化の充実

⑤県内観光施設・商業施設・宿泊施設・主要交通拠点における利便性の向上

⑥観光素材のブラッシュアップ

イ 海外プロモーション

①ターゲット（国・地域）の明確化及びアプローチ深度に合わせたプロモーション

②他県空港からの誘客

③広域連携による効率的なプロモーション

④地域資源を前面に出した誘客

(6) 推進体制

県、市町村（広域連合）、観光団体、民間企業・観光施設等をメンバーとする「国際リゾートとっとり推進協議会」を設置。

2 パブリックコメントの実施結果

(1) 実施期間 平成25年2月8日（金）～3月4日（月）

(2) 意見件数 274件

(3) 主な意見

- ・中国や韓国は、距離も近く日本との結びつきも強いので、重点的に集客すべき。
- ・台湾や東南アジアからの誘客を進めるべき。
- ・現在、豪華客船が寄港しており、これを国際観光振興の柱の一つにすべき。
- ・羽田空港国際線を利用したプロモーションも必要。
- ・観光は一つの県だけで考えるのではなく、隣接する県や地域とのパッケージで考えることが必要。
- ・景観、伝統、文化などで日本や鳥取の歴史等を楽しんでもらうのがよい。
- ・外国人よりも日本人観光客の誘客に力を入れるべき。

3 今後の対応

4月～5月にかけて、県内関係者（市町村、観光団体、事業者等）を対象とした本プランの説明会を実施して周知するとともに、「国際リゾートとっとり推進協議会」を設置し、プランの推進を図る。

「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」の開催準備状況について

平成25年4月19日
西部総合事務所地域振興局

平成25年10月に県西部地域を主な会場として開催される当大会について、現在の準備状況等を報告します。

1 大会の概要（別添チラシ参照）

【期 日】平成25年10月19日（土）～21日（月）

【主 会 場】米子コンベンションセンター

【主 催】「エコツーリズム国際大会2013 in鳥取」実行委員会

【共 催】NPO法人日本エコツーリズム協会（JES）

【テ ー マ】住まうように旅する。「森・里・海、水の連環と人々の営み」

【参加者概算数】延べ3,000人

※国外へのPRはJESと連携して、各国政府観光局・大使館を通じて行うとともに、県独自に交流を進めている地域（韓国江原道、台湾台中市等）にも参加を呼びかける。

2 大会の構成

項 目	内 容
会議	1日目（10/19）：開会式、基調講演、地域紹介、トークセッション等 3日目（10/21）：大会総括、体験型ツアー報告、閉会式
体験型ツアー	2日目（10/20）：県内各地8コース程度を想定 →お披露目+商品化+大会前後での招待ツアー化を図る。
交流	・国際エコツアーフェア（国内外の地域紹介）→PRブース、ポスター等で紹介 ・1日目（米子）・2日目（大山）の夜、食と郷土芸能文化紹介等による交流会
広報宣伝	民間事業者の協力により、ツアーの商品化に効果的な広報宣伝を行う。 →JES、JTB、株式会社モンベル（アウトドア用品メーカー）等との連携
併催イベント	・皆生大山が発祥の環境スポーツイベント「第5回SEA TO SUMMIT」の同時開催 ・秋の大山一斉清掃を期間中に併催（10/20）

3 今後の取組

【参加者募集】 5月末を目処に、参加案内・募集予定。

【誘客促進】 エコツーリズムによる誘客を当地域に根付かせるため、多様なツアープログラムの造成とともに、JTBなどと連携した誘客促進を進めていく。

①観光庁事業「官民連携した魅力ある観光地の再建・強化事業」の選定 (H25. 3. 18)

→「住まうように旅する」元気再生大山物語～旅人を元気にするツアー～

②JTB協定旅館ホテル連盟事業「インバウンド支援事業」(3か年)の採択 (H24. 10. 19)

→【鳥取県西部】エコツーリズムなどを活用したアジアからの外国人誘客事業

③関係市町村と連携を図りながら、エコツアープログラムの発掘・造成を進める。

→H24年度に開発されたツアー例：大山の水を旅する、ブッポウソウなどの観察、米子下町での着物・和傘体験、日野の古民家宿泊体験 など

4 エコツーリズム国際大会事務局の開設

【所在地等】 西部総合事務所本館1階 (開設日：平成25年4月1日)

【体制】 専任事務局員12名 (非常勤職員を含む。)

<県4名、米子市1名、大山町1名、エコツーリズム協議会2名、非常勤職員4名>

5 その他の関連事項

○スポーツツーリズム「ダイジョウブシステム」のお披露目式を行った。(H25. 4. 5、皆生アーク)

※ダイジョウブシステムとは、大山中海地域でサイクリングを安心・安全・快適に楽しめるよう、地元カフェ等と連携し各種サービスを提供する支援体制のこと。

→拠点施設3か所、サイクルカフェ17か所 (別添チラシ参照)

エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取 実行委員会 委員名簿

2013.04.09 現在
(順不同・敬称略)

番号	役職名	所属団体	職名	氏名	備考
	名誉大会長	NPO法人日本エコツーリズム協会 (JES)	会長	愛知 和男	
	大会長	鳥取県	知事	平井 伸治	
	副大会長	株式会社ジェイティービー	代表取締役社長	田川 博己	JES副会長、鳥取県政顧問
	大会顧問	日本旅行作家協会	名誉会長	兼高 かおる	
	"	株式会社モンベル	代表取締役	辰野 勇	米子・大山観光大使
	"	NPO法人森は海の恋人	理事長	島山 重篤	国連フォレスト・ヒーローズ
	特別役員	LSネットワークス	副会長	イ デフン	米子・大山観光大使

1	会 長	一般社団法人大山観光局	代表理事	足立 敏雄	
2	副会長	大山・中海エコツーリズム協議会	会長	柴野 憲史	
3	"	NPO法人大山中海観光推進機構	理事長	石村 隆男	
4	E コ 協	委員	皆生温泉旅館組合	組合長	宇田川 英二
5		"	大山旅館組合	組合長	山根 均
6		"	有限会社地域未来	代表取締役	杉原 幹雄
7		"	有限会社ジャプロ	代表取締役	幸形 信之
8		"	皆生レクリエーションカヌー協会	理事長	伊坂 明
9		"	大山・中海エコツーリズム協議会	事務局長	大西 喜久子
10		J E S	"	NPO法人日本エコツーリズム協会	理事
11	"		NPO法人日本エコツーリズム協会	理事	山田 桂一郎
12	"		NPO法人日本エコツーリズム協会	理事	高峰 博保
13	観 光	"	米子市観光協会	会長	野島 譲
14		"	境港市観光協会	会長	榊田 知身
15		"	社団法人鳥取県観光連盟	会長	中島 守
16		"	とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会	会長	岩崎 元孝
17		"	山陰海岸ジオパーク推進協議会	会長	中貝 宗治
18		"	有限会社森の国	取締役社長	伊澤 大介
19		"	だいせんホワイトリゾート	シニアマネージャー	太田 昌雄
20		"	グランドワーク大山蒜山	代表	徳永 巧
21		"	株式会社モンベル	社長	真崎 文明
22		教 育	"	公立大学法人鳥取環境大学	副理事長
23	"		米子工業高等専門学校	准教授	細田 智久
24	経 済	"	米子商工会議所	地域振興部長	福田 憲保
25		"	境港商工会議所	会頭	堀田 收
26		"	鳥取県西部商工会産業支援センター	センター長	足立 英市
27		"	鳥取県経済同友会西部地区	代表幹事	秦野 一憲
28		"	財団法人とっとりコンベンションビューロー	専務理事	長谷川 泰二
29		"	鳥取西部農業協同組合	代表理事組合長	谷本 晴美
30		"	米子市ホテル旅館組合	組合長	宮倉 正樹
31		"	株式会社JTB中国四国鳥取支店	支店長	高野 剛
32	交 通	"	西日本旅客鉄道株式会社米子支社	営業課長	陶山 正明
33		"	全日本空輸株式会社山陰支店	支店長	松岡 弘晃
34		"	日本交通株式会社	常務取締役	澤 耕司
35		"	鳥取県ハイヤータクシー協会	会長	船越 克之
36	行 政	"	国 環境省米子自然環境事務所	上席保護官	有山 義昭
37		"	米子市	市長	野坂 康夫
38		"	境港市	市長	中村 勝治
39		"	市 日吉津村	村長	石 操
40		"	町 大山町	町長	森田 増範
41		"	町 南部町	町長	坂本 昭文
42		"	町 伯耆町	町長	森安 保
43		"	町 日南町	町長	増原 聡
44		"	町 日野町	町長	景山 享弘
45		"	町 江府町	町長	竹内 敏明
46		"	鳥取県文化観光局	局長	細羽 正
47		"	鳥取県西部総合事務所	所長	林 昭男
48	"	西部総合事務所日野振興センター	所長	山根 淳史	
48	"	鳥取県教育委員会西部教育局	局長	白井 靖二	

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成25年4月19日
文化政策課

【変更分】

工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
米子コンベンションセンター舞台音響設備改修整備業務	米子市 末広町	ビクターアークス・佐藤 総合計画グループ	388,710,000円	(当初契約工期) 平成25年1月26日 ～ 平成26年2月28日	(当初契約年月日) 平成25年1月25日	
				(第1回変更契約後工期) 平成25年1月26日 ～ 平成27年2月28日	(第1回変更契約年月日) 平成25年3月21日	